



海星だより

第9号 平成 28 年 12 月

広島県立大崎海星高等学校 <http://www.osakikaisei-h.hiroshima-c.ed.jp/>

大崎上島学

各々の興味に応じて地域の課題を発見し、地域の方々と協働しながら解決策を考え、地域を元気にする提案の企画・実践を目指す「大崎上島学」。今年は8名の生徒が3つのグループに分かれ、プロジェクトを進めています。

1. 歴史図鑑グループ

歴史図鑑グループは、「島の子どもが島に愛着・誇りを持ち、将来島に帰ってきたいと思うようにする!」という目標を設定しました。①子どもたちにもわかりやすいように絵本を作成し、島の歴史を伝承する、②島の祭りを紹介する図鑑を作る、など様々なアイデアを出し、様々な人のご意見をうかがいながら、実現に向け活動しています。



2. サイクリンググループ

サイクリンググループは、「島の魅力をアピールし、島にたくさん観光客を呼び込む!」という目標を設定しました。①島の魅力を堪能できる観光ルートを作成する、②観光に適した環境づくり(道路整備や空き家の有効活用)を推進する、というアイデアを出し、実現に向け活動しています。島にある日本一を巡る「日本一ツアー」や、有名人が訪れた場所を巡る「ロケ地巡りツアー」、島の魅力を詰め込んだ「島半周ツアー」など、生徒一人ひとりがオリジナルの観光ルートを考案し、観光マップを作成します。



3. 郷土料理グループ

郷土料理グループは、「島の魅力的な食材を島外にもアピールする!」という目標を設定し、「フルーツセンター文田」の肉厚なしいたけと、「ふれあい工房」のバンズを使用した「しいカツバーガー」を考案しました。11月13日(日)に開催された「オキウラマルシェ」で試作品を販売し、12月10日(土)、11日(日)に開催された「HOGALAKA 10周年イベント」では「海星バーガー」という名前でふれあい工房で製造された商品を販売しました。「海星バーガー」は大好評で、両日ともお昼前には完売しました。商品化に向けた今後の展開にご期待ください。



HOGALAKA のイベントではハンバーガーにつける商品シールも本校生徒がデザインしました!

「海星バーガー」は、1月6日(金)にTSS「ひろしま満点ママ!!」の取材を受けました。生徒が調理した「海星バーガー」をレポーターの方に振る舞い、「おいしい!」と絶賛していただきました。取材の様子は1月12日(木)のTSS「ひろしま満点ママ」で放送される予定です。

福祉体験・インターンシップ発表会(12月20日)

12月20日(火)に、福祉体験・インターンシップ発表会を実施しました。本校では、大崎上島の福祉の現状を理解し、課題を発見・解決していくことを目的として1年生が福祉体験学習を、また、社会人・職業人として必要な態度・マナーや心構えを身に付けるという目的で、2年生がインターンシップを行います。それぞれの生徒が福祉体験、インターンシップで学んだことを発表することで、自分の中で学びを整理し、他の生徒の体験から学ぶことができます。また、パワーポイントを用いて発表することにより、生徒のプレゼンテーション能力の向上を目指します。

